

背景にヒートアイランド現象

熱中症死亡者136人(23区内) 都市づくりふくめ、総合的な熱中症対策を

熱中症死亡者は
65歳以上が87%

東京都監察医務院の最新のデータでは、7月17日(梅雨明け)〜9月6日までの23区における熱中症の死亡者数は136人でした。そのうち65歳以上の方が118人(87%)、ひとり暮らしが91人(67%)、住宅内での死亡が130人(96%)。クーラーの設置の有無がわかっている91人のうち、設置されていないのは55人(60%)でした。死亡した時間帯がわかっている94人のうち、日中が53人(56%)、夕方から夜間に死亡した人は41人(44%)でした。

熱中症から都民を守れ

日本共産党都議団は知事及び教育長あてに熱中症対策に関する申し入れを行いました。

大山とも子都議は、厚生労働省のまとめでも職場では熱中症による死亡者数の増加がめだっていることを指摘しました。熱中症による死亡者や救急搬送は、この十数年のあいだに急増しています。観測史上もつとも暑い夏となった今夏は、かつて経験したことのない深刻な被害がひろがりました。

9月に入ってもなお猛暑が続いていますが、この背景には、大都市のヒートアイランド現象や地球温暖化による影響が指摘されており、今夏かぎりの問題と



日本共産党東京都議団二丁
大山とも子だより
都民が主人公の東京へ

9月19日
289

発行
日本共産党東京都議会議員団
控室 電話 (3320)7270
FAX (3320)1790

連絡先
大山とも子事務所
新宿区住吉町十一二五
電話 (3357)3818
FAX (3353)4912

都政に関する「意見・要望」をお寄せください!

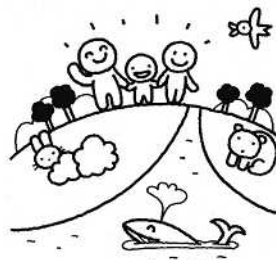
シニアカーでは入れない公園入り口の改善を 都福祉のまちづくり条例の不十分さも明らかに

戸山公園の大久保側、明治通り沿いの入り口は、柵があってシニアカーが通れないので改善してほしいとの要望を受け、大山都議は当事者と建設局高橋康夫公園建設課長らとともに、現地調査をしました。

柵は東京都福祉のまちづくり条例の基準通りに設置されていますが、シニアカーが通れません。それは、福祉のまちづくり条例が車椅子は想定していますが、シニアカーは想定していないからです。高齢者をはじめ、シニアカー利用者は増えているだけに、条例自体を改善する必要もあります。

実際にシニアカーを動かしてみなが

ら、どうすれば通れるようになるか、試しました。高橋康夫課長は、この場所で改善した柵を試してみ、バイクが公園に入らないか、近隣の方々の声なども聞き、よければ、他にも広げていきたい、とのことでした。



考えることはできません。申し入れでは、このことも指摘し来夏への備えもふくめ、都として総合的な熱中症対策を実施するよう、要請しました。

福祉保健局の梶原洋総務部長、教育庁の松川桂子総務部担当部長が応対しました。

福祉保健局の梶原洋総務部長は、「(熱中症予防組)普及啓発などに取り組みたい」「関係セクションに伝えます」と答えました。



9月8日、都に申し入れをする大山とも子都議

最低賃金 抜本的引き上げを 申し入れ



各団体から切実な要望が次々 —来年度予算に向けた団体との懇談会始まる—

日本共産党都議団は都内の各団体から来年度予算要望についての聞き取りを始めました。大山都議は保育や児童養護の関係団体、障害者団体、難病団体、介護関係や医療関係の団体など8月31日から9月9日までに27団体と懇談しました。

医療ケアが必要な重症の障害者をもつお母さんたちからは、親も子も高齢になり、在宅での生活を支えるために欠かせない通所施設もショートステイも入所施設も足りず展望が持てないこと。学童保育の連絡協議会から、40人の定員のところに70人まで入れることになったなど、各団体から、切実な実態や要望がだされます。

予算懇談会は、来年度予算要求の基礎になるばかりでなく、各団体が当面している課題・問題点や要求を把握できる貴重な機会です。

副知事から出された来年度予算見積もりの基本方針では、都税収入が2009年度決算で前年度実績を1兆円を下回ると、財政が厳しいことを強調していますが、同じ文章で

9月3日、日本共産党都議団は最低賃金を1000円へと抜本的に引き上げるよう東京労働局長あてに申し入れました。

東京地方最低賃金審査会は8月23日、2010年度の最低賃金(時給)について、09年から30円上げ821円に改正するのが適当と労働局長に答申しました。

しかし、この額は生活保護水準を下回っています。都議団は、働いても貧困から抜け出せない層が広がる原因の一つは、世界的にみ

ても低すぎる賃金だと指摘。憲法や改正最低賃金法が定める「健康で文化的な最低限度の生活」を保障できるよう最低賃金を1000円までに引き上げることを求めました。

対応した田谷信介賃金課長は、最低賃金が生計保護水準以下であることを解消しなければならぬとの認識を示し、「政・労・使合意にもとづいて1000円をめざすことになっている」と答えました。

国や、東京都の悪政のもとで、都民の苦難は様々な分野で極限に達しています。

熱中症問題でも石原都政12年の都市づくりが問われていきます。また若者の雇用や円高問題での中小企業支援も欠かせません。児童虐待や高齢者の行方不明問題も孤立・孤独、経済的困難と切り離せません。

都民の願いを実現させるために、石原都政の無駄づかい、都心集中の都市づくりなどがみを正して、都政転換の方向を示すことも求められています。

築地市場の豊洲移転問題も焦点です。食の安全を守るため、現在地再整備に道をひらく論戦をすすめていきます。

第三回定例会が始まります



東京歯科保険医協会のみなさんと懇談する大山都議。歯科衛生士・歯科技工士の不足は深刻、歯科衛生士は歯科の予防医療には不可欠な人材です。

「活用可能な基金残高も1兆円以上確保」していると言っています。この1兆円の中にはオリンピックのために積み立てた4000億円も入っています。都自らが「活用可能」と述べているのですから、都民のために活用させようではありませんか。

第三回定例会 日程(予定)

- 9月16日(木) 定例会前 厚生委員会 請願・陳情の審査
- 21日(火) 本会議 知事所信表明
- 28日(火) 代表質問
- 29日(水) 一般質問
- 30日(木)、10月4日(月) 5日(火) 各常任委員会
- 10月7日(木) 本会議 討論・採決